

塾人社 四択問題【地理 世界と日本の気候 7】

設問 1		日本は造山帯の一部であることから、どんな問題がよく起きるか。正しくないものを選び。
選択肢	1	地震
選択肢	2	火山灰が積もる
選択肢	3	酸性雨
選択肢	4	津波
正解		
解説		

設問 2		夏に雨が少ない場合などに、瀬戸内海沿岸などに多くおきる被害は何。
選択肢	1	干ばつ
選択肢	2	なだれ
選択肢	3	集中豪雨
選択肢	4	冷害
正解		
解説		

設問 3		稲の成長期に低温の日が続き、稲が十分に育たない被害を何と言う。
選択肢	1	公害
選択肢	2	干害
選択肢	3	冷害
選択肢	4	低温害
正解		
解説		

設問 4		設問3に関連して、初夏から夏に、オホーツク海方面から吹いてくる冷たい北東風を何と言う。
選択肢	1	やまと
選択肢	2	やまかせ
選択肢	3	おませ
選択肢	4	やませ
正解		
解説		

設問 5		日本は平地が少ないため、住宅地などを山間部のすそ野などを造成して建ててきた。そのため、地盤が弱く、大雨発生などの場合に、がけ崩れなどが頻繁に発生している。こういう災害を何と言う。
選択肢	1	天災
選択肢	2	人口災
選択肢	3	人工災害
選択肢	4	人災
正解		
解説		

塾人社 四択問題【地理 世界と日本の気候 7】

設問 1	日本は造山帯の一部であることから、どんな問題がよく起きるか。正しくないものを選び。	
選択肢	1	地震
選択肢	2	火山灰が積もる
選択肢	3	酸性雨
選択肢	4	津波
正解		3
解説	日本は環太平洋造山帯(かんたいへいようぞうざんたい)の一部だ。だから、火山が多く、そこから噴出す火山灰の被害や、土石流や火砕流などの問題もよく起きる。また、地震が多いのも特色だ。津波は、地震が発生した時に海面が大きく揺れることなので、これも正解なんだね。	

設問 2	夏に雨が少ない場合などに、瀬戸内海沿岸などに多くおきる被害は何。	
選択肢	1	干ばつ
選択肢	2	なだれ
選択肢	3	集中豪雨
選択肢	4	冷害
正解		1
解説	干ばつ(かんばつ)は、夏に雨が少ない時におきる水不足問題だ。テレビなどでダムの水がなくなったり、たんぼがひび割れているのを見るよね。あれが干ばつの被害なんだよ。	

設問 3	稲の成長期に低温の日が続き、稲が十分に育たない被害を何と言う。	
選択肢	1	公害
選択肢	2	干害
選択肢	3	冷害
選択肢	4	低温害
正解		3
解説	冷害(れいがい)と言うよ。北海道や東北地方の太平洋側に多く発生する。	

設問 4	設問3に関連して、初夏から夏に、オホーツク海方面から吹いてくる冷たい北東風を何と言う。	
選択肢	1	やまと
選択肢	2	やまかぜ
選択肢	3	おませ
選択肢	4	やませ
正解		4
解説	このやませは、霧や小雨をとめない気温を下げる。だから初夏からの稲の生長に欠かせない日照時間の減少や、低温をまねくことで稲に被害が生じるんだ。	

設問 5	日本は平地が少ないため、住宅地などを山間部のすそ野などを造成して建ててきた。そのため、地盤が弱く、大雨発生などの場合に、がけ崩れなどが頻繁に発生している。こういう災害を何と言う。	
選択肢	1	天災
選択肢	2	人口災
選択肢	3	人工災害
選択肢	4	人災
正解		4
解説	人間が自然の変化のリズムを乱してまねいた災害を人災(じんさい)と言う。日本では、この人災が重大な問題となっているんだよ。	